がんばってます！消防団

編集●第８分団

このマンホール、ご存じですか？

― 分団で地域の消防水利の塗装作業を行いました ―

私たち第８分団（岩屋）は、７月 19 日に地域内の「消防水利」と呼ばれる消火栓と防火水槽（消防水利マンホール）の塗装作業を行いました。

火災が起きたとき、私たち消防団が真っ先に向かうのが、この消防水利です。消火に使う水をとる大切な場所ですが、長年の間に色や文字があせて、どこにあるのか一目では分からなくなってきます。現場で水利を探す数十秒が、消火の早さを左右します。だからこそ、定期的な塗り直しです。

防火水槽（マンホール）

塗装作業後

消火栓

塗装作業後

色が入ると、遠くからでもはっきりと水利の場所が分かるようになります。作業を終えたマンホールが道で鮮やかに光っているのを見ると、地味な作業ながら、地域の備えが一つ確かになったと感じます。

地域の安全は、こうした小さな積み重ねで守られています。散歩の途中などでこのマンホールを見かけたら、「ここに水利があるんだな」と、少しでも気にかけていただけたらうれしいです。

― お願い ―

消防水利の周辺は、いつも空けておいてください

消火栓や防火水槽は、消火活動において重要な設備です。物や駐車車両などでふさがっていると、緊急時に水が使えず消火が大きく遅れてしまいます。水利の周りを空けておくことは、誰にでもできる一番身近な消防活動です。ご協力をお願いいたします。

車両などを更新しました。

８月２日、第２分団（石田・弓木）の小型動力ポンプ付積載車を更新しました。地域の消防団は、火災時の消火活動だけでなく、風水害や災害時の警戒・救助活動など、地域防災の重要な役割を担っています。今回の車両更新により、さらなる消防力の充実を図ってまいります。

図書館へ行こう！ BOOKS

図書館ホームページ ▸

備えあれば憂いなし

9月は１日に「防災の日」、９日が「救急の日」。
思いがけない事故や災害への備えについて考えてみませんか？

『NG 行動がわかる防災事典』

タイチョー／ KADOKAWA

自然災害に対して、どんな備えが必要か、また災害に起きたときの正しい行動を知ることができる１冊。災害が起きたとき、自分が置かれている場面ごとに取るべき行動や役立つ知恵をイラストや写真で解説。防災に関する知識を分かりやすく学べます。

『防災ハンドメイド』

辻直美／ KADOKAWA

100 円均一で購入できるような身の回りの物を使ってお皿やシャワー、湯たんぽなどの代用品の作り方を 39 個紹介した１冊。楽しい工作にチャレンジする気持ちで普段から作ってみることが緊急時にも役立つので、ぜひお試しください。

『たいふうどうするの？』

せべまさゆき・絵　国崎信江、WILL こども知育研究所／金の星社

災害は、年齢や立場に関係なく襲ってきます。そんなときどうすればよいのかを、家族で一緒に話し合えるようにイラストと分かりやすい文章で、取るべき行動や考え方を解説した絵本。ほかに、地震・火事・交通安全・防犯の計５冊シリーズ。

『救命拒否』

鏑木蓮／講談社

トリアージとは、災害や事故が発生した場合に、けが人の重症度や緊急度に応じて治療の優先度を決めること。講演中の救命医が爆弾により死亡する直前に、救急救命士に言い残した言葉はトリアージに関するものでした。生死にかかわる究極の判断をテーマにしたミステリー小説。

今月の新着図書

一般書 ●『夏帆』村上春樹／新潮社　●『戦争が変えた世界史』伊藤敏／朝日新聞出版　●『葵の紋を継ぎまして。』山岸美喜／KADOKAWA　●『ゾンビ回収婦』小砂川チト／講談社

児童書 ●『くだもののはななんのはな？』宮崎祥子／岩崎書店　●『47とどうふけんをおぼえる妖怪ずかん』朝里樹／文響社　●『せかいをみてきたペンギンくん』M.レイ／好学社

おはなし会を開催します

読み聞かせボランティアの皆さんによる「おはなし会」です。

【加悦分室】９月 12 日（土）
【本　　館】10 月３日（土）
※ すべて午前 10 時 30 分～

● 問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451　加悦分室 ☎ 43-0376　野田川分室 ☎ 43-0087
● 開館時間／午前 10 時～午後６時　● 休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）